

2. 指標設定

成果指標	指標名	公衆衛生の維持	目標年度	—	指標の設定理由				
	数値	—			快適な生活空間に必要な環境を整える				
活動指標	指標	a	補助実施数	b	狂犬病注射頭数	c		d	
	数値	目標	—	目標	—	目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
公衆衛生の維持		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 補助実施数	件	36 件	6 件	9 件
b 狂犬病注射頭数	頭	2,404 頭	2,248 頭	2,177 頭
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
住民要望等から補助が削減できず、増加傾向にある。
対応（改善点等）
補助金交付基準に沿った交付を行う。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

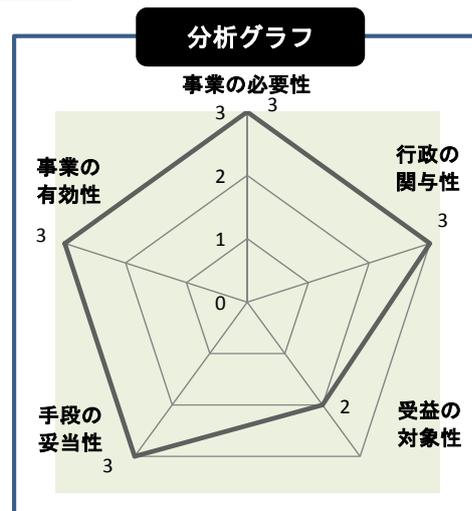
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		22,708	14,893	787,355	11,399
		5,850	8,506	5,377	7,399
財源内訳	国費				
	県費	240	1,507	90	90
	市債				
	その他	1,965	2,207	774,835	1,648
	一般財源	20,503	11,179	12,430	9,661
うち経常		3,795	4,503	3,552	5,661
事業費に係る人件費		17,630	16,746	15,256	14,637
事業費に係る人役		4.10	3.90	3.50	3.30

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
公衆衛生の維持に努める。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 事業の必要性が高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により、市が実施主体であることが定められている。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	2 おおむね市民の半数に享受できている。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 期待したとおりの成果が上がっている。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、補助金交付要綱を遵守し、適正かつ効果的な事業実施を行うこと。